

2025 年 9 月 25 日

各 位

会 社 名 株式会社ジャパンインベストメントアドバイザー  
代表者名 代表取締役社長 白 岩 直 人  
(東証 プライム市場・コード:7172)  
問合せ先 取締役管理本部長 杉 本 健  
( TEL. 03-6550-9307)

## 「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」による資金調達に関するお知らせ

当社の 100%子会社 JPリースプロダクツ&サービスズ株式会社(以下「JLPS」)は、株式会社三井住友銀行(頭取 CEO:福留 朗裕/本店:東京都千代田区、以下「三井住友銀行」)をアレンジャーとする、シンジケーション形式の「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」による資金調達を行いましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」とは

金融機関が、企業の事業活動に伴って環境・社会・経済にもたらすインパクト(ポジティブな影響とネガティブな影響)を包括的に分析・評価し、サステナビリティ経営の実現に向けた活動を継続的に支援することを目的とした融資です。

JLPS は、事業活動に関連する重要なインパクト領域の「重点取組項目及び評価指標」を後述のとおり決定しており、その内容を三井住友銀行が評価いたしました。

(なお、「重点取組項目及び評価指標」は当社および JLPS の一体指標としております。)

本件の実施にあたり、三井住友銀行は、JLPS の取組が、ポジティブ・インパクト金融原則(※1)に適合していることを確認したセカンドオピニオンを、第三者評価機関である株式会社格付投資情報センター(代表取締役社長:吉田 透)より取得した上で、「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」による融資を提供しております(※2)。

#### ※1 ポジティブ・インパクト金融原則とは






SDGs の達成に向け、金融機関が積極的な投融資を行うための原則として、2017 年 1 月に国連環境計画・金融イニシアティブ(UNEP FI)により策定されたものです。資金提供先企業のネガティブな影響を軽減し、現実的かつ信頼性のある方法でポジティブな影響を高めるための資金提供のあり方を定めており、「定義」、「枠組み」、「透明性」、「評価」の 4 つの原則で構成されています。

#### ※2 株式会社格付投資情報センター ホームページ

<https://www.r-i.co.jp/rating/esg/sustainabilityfinance/index.html>

をご参照ください。

## 2.「重点取組項目及び評価指標」

重点取組項目	目標・評価指標(KPI)	関連するSDGs
環境負荷低減と輸送システム維持・拡大の両立	<評価指標> ・環境性能の高い航空機のリース管理機体比率 <目標> ・2027年までに70%以上(貨物機・エンジンリース除く)	 13 気候変動に具体的な対策を
	<評価指標> ・航空機リース実行件数 <目標> ・2027年度までに45件/年	 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
働きやすい職場環境の提供とダイバーシティの推進	<評価指標> ・女性取締役比率 <目標> ・2027年度までに30%	 5 ジェンダー平等を實現しよう
	<評価指標> ・女性管理職比率 <目標> ・2027年度までに20%	 5 ジェンダー平等を實現しよう
	<評価指標> ・男性育児休業取得率および休暇制度利用率 <目標> ・毎年度100%	 10 人や国の不平等をなくそう

※ 上記目標・評価指標(KPI)は当社およびJLPSを含めた実績数値で開示する。  
企業統治の多様性向上については当社の実績数値で開示する。

(ご参考)三井住友銀行 ホームページ掲載

JPリースプロダクツ&サービスイズ株式会社へのシンジケーション形式による  
「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」の組成について

[https://www.smbc.co.jp/hojin/financing/sustainable/kokusai/pdf/250925\\_01.pdf](https://www.smbc.co.jp/hojin/financing/sustainable/kokusai/pdf/250925_01.pdf)

本件に関する問合せ先  
広報・IR室  
TEL:03-6550-9307

以 上